

自然公園の持続可能な取組事例

(大山隠岐国立公園・山陰海岸国立公園)



鳥取県

伯耆国「大山」



大山の環境保全の取り組み

- 昭和40年代の登山ブームにより山頂の植生が衰退、昭和50年代には山頂付近が裸地化
- 昭和60年から「大山の山頂を保護する会」により、登山者が山頂の植生回復に使用する木1本、石1個を持って登る「一木一石運動」をスタート



大山入山協力金の実証事業を開始

【使用目的】



キャラボク群落を守る木道の補修



植生復元のためのこも伏せ



山頂水洗トイレの保守清掃

【返礼品】

- ① 記念カード
(500円)



- ② 梨の木キーホルダー
(3,000円の方)



国立公園満喫プロジェクト(H28~R2)

▶ 大山山麓から頂上までの様々な環境整備を実施！



六合目避難小屋改修
(2階化、携帯トイレブース等)



山頂避難小屋改修
(収容人員増、トイレ洋式化)



登山道改修



案内看板整備(多言語化)



大山参道市場整備



大山ナショナルパークセンター改修
(登山拠点・休憩、外国語対応)



景勝地における環境整備
(寂静山園地)

国立公園満喫プロジェクト(R3～)

これまでの総括

- R2年度までに登山道や避難小屋の改修、トイレの洋式化や案内板の多言語化などのインバウンド対応等の集中実施により滞在環境が改善、ソフト面でも星空などをテーマとするツアー開発が図られてきた。
- しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、来訪者が減少し、観光事業者等に甚大な影響が出ている。一方で、国内観光では自然やアウトドアレジャーへの関心が高まっており、国立公園を始めとする自然公園の価値が改めて見直されている。
- 自然そのものが最大の魅力である国立公園において、アフターコロナを見据えた更なる滞在環境の上質化及び利用者の安全で快適な受入環境の維持・整備とともに持続可能な取組を推進していく。

今後の取組

【令和2年度から継続して実施】

- 大山博労座駐車場整備
(駐車場拡張、融雪装置)
- 大山登山道整備(山頂木道、夏山登山道)
- 大山滝吊橋改修(老朽化による改修)
- 三徳山展望休憩所整備
- 大山入山協力金の本格導入検討 等



山頂木道の付替え改修



鳥取砂丘の周辺地形



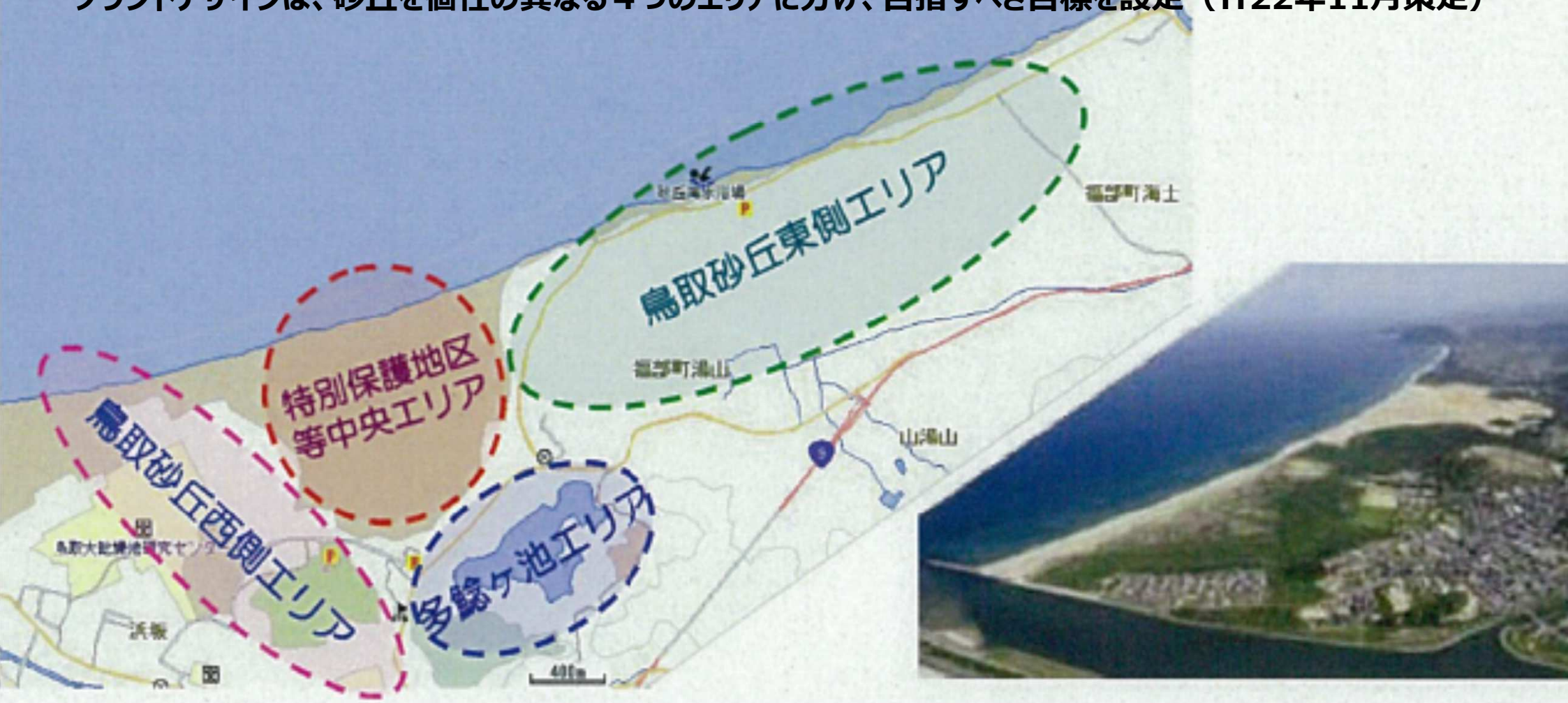
鳥取砂丘の草原化



【平成2年頃】

鳥取砂丘グランドデザイン

鳥取砂丘に関わる関係団体、地元、大学、行政が、砂丘の保全と再生を目標に「鳥取砂丘再生議会」を設立。
グランドデザインは、砂丘を個性の異なる4つのエリアに分け、目指すべき目標を設定（H22年11月策定）



鳥取砂丘の保護・保全(ボランティア・アダプト除草)



鳥取砂丘のイベント等の事例

【鳥取砂丘イリュージョン】



【鳥取砂丘リアル神経衰弱】



【砂丘ファットバイク】



西側エリアの滞在型観光施設の整備に関するサウンディング型市場調査

○民間活力の導入による3つの施設の一体運営などの検討

○今冬には公募型プロポーザルを実施の予定

【サイクリングターミナル】
鳥取市



【柳茶屋キャンプ場】
鳥取市



【こどもの国キャンプ場】
鳥取県



○その他、西側エリアで計画されている整備

- ・ワーケーション施設、リゾートホテル（民間）
- ・西側ビジターセンター及び県休憩舎の一体整備（環境省、鳥取県）

